政治学方法論 I: 課題 9 2014.12.3

政治学方法論 I - 課題 9

提出期限: 2014 年 12 月 10 日午前 9 時 (日本時間)

提出方法:担当教員にメールの添付ファイルとして送る

提出するメールの件名:政治学方法論1課題9

注意:提出するファイルは2つ:hw09-NAME.pdf と hw09-data-NAME.csv

課題1 以下の指示に従って、ロジスティック回帰分析のシミュレーションを行いなさい

1. 自分で母数 (parameters) とデータ生成過程を設定し、データを生成しなさい(ヒント:まず、説明変数を生成する (説明変数は固定してもよい)。次に、生成した x と自分で設定した β を使って成功確率を求める。最後に、成功確率を使って値が 0 または 1 になる応答変数を生成する。)

- 2. 生成したデータにロジスティック回帰を当てはめ、母数を推定しなさい
- 3. 生成したデータに OLS を当てはめ、母数を推定しなさい
- 4. 重回帰分析のシミュレーションのときと同様に、上の過程を繰り返し実行し、ロジスティック回帰の特徴を調べなさい。その際、様々な条件を(一つずつ)変え、どのような条件で推定がうまく行えるか(行えないか)を明らかにしなさい。また、応答変数が二値のデータにOLS を当てはめるとどのような問題が生じるか(あるいはそもそも問題があるのか)調べなさい

課題 2 二値で表される変数と、その値を説明すると思われる変数(少なくとも 1 つは連続であることが望ましい)が含まれるデータを探しなさい。見つけたデータを **CSV ファイル**として提出しなさい。(論文のレプリケーションデータも可)